

豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち

広報とえだ

Soeda
Public
Relations



20歳になりました

◎新成人108人が大人の仲間入り

FEB.2017

2

No.664



華やかな晴れ着姿で成人式に参加



スマホで写真撮影



久しぶりの再会に笑みがこぼれます

それぞれの夢に向かって 今日から大人の仲間入り

オークホールで1月8日、平成28年度の添田町成人式が行われました。今年の該当者108人のうち88人が式典に出席。色とりどりの華やかな振り袖や真新しいスーツに身を包んだ新成人たちが、それぞれの夢や希望を抱いて、大人への一歩を踏み出しました。



↑晴れ着姿に身を包んだ88人が集い、懐かしい友や恩師との再会を喜び合った成人式。大人への一歩を踏み出した新成人の皆さんの明るい未来に期待しています

新成人に Interview

★あとなの今後の目標は何ですか？



大学を卒業する
白石小遥



箱根駅伝
出場!!
鈴見侑大

1_中学時代の恩師、塚章子先生もお祝い
にかけつけました 2_力強く謝辞を述べ
る耳塚卓志さん 3_同級生との再会を喜
び記念撮影です 4_初々しい振り袖姿



2



1



3



4

平 成28年度の成人式が行われ、旧友や恩師との再会に会場となったオークホールでは笑顔と歓声があふれました。式典では、少し緊張した面持ちの新成人へ寺西明男町長が「目まぐるしく変化する社会の中で、一人前の構成員として出発した。今持っている若さで頑張ってほしい。勇気を持って晴れやかに、一歩を踏み出してください」と期待を込めて激励。また、祝福にかけた中学時代の恩師や来賓などからも温かいメッセージが送られると、新成人たちは静かに耳を傾けて、時折笑顔をみせながらも、一言一言を静かに聞き入っていました。

さらに、式典の後半では、中学時代の体育祭や文化祭、修学旅行などの懐かしい写真がスクリーンに映し出され、当時は思い出して、会場は笑いの渦に包まれました。最後は、新成人代表として耳塚卓志さん(庄中)が謝辞を述べ「今日の感動を生忘れれることなく、社会の一員としての責任と自覚を持ち一歩一歩前進していきたい」と決意を力強く宣誓しました。

式典終了後は、会場の外で恩師や友人たちと近況報告や思い出話をして盛り上がったたり、スマートフォンで写真を撮り合ったりして旧交を温め合う新成人たち。人生の大きな節目に立った喜びと、周囲への感謝の気持ちをかみしめ、故郷の友とのかけがえのないひとときを有意義に過ごしていました。

忘れずにお早めに



平成28年分

確定申告 が始まります

今年も税の申告の時期になりました。障害年金や遺族年金を受給している人、収入がなく扶養になっている人も申告が必要な場合がありますので、期間中に役場で申告を行ってください。

☎ 役場住民課税務・滞納対策係 / ☎ 82-1234 田川税務署個人課税部門 / ☎ 44-0430

役場での受付期間 >>> 2月16日(木)～3月15日(水)

申告会場 役場1階特1会議室 8時30分～17時15分(土・日は除く)

■ 休日でも申告を受け付けます 2月19日(日)、26日(日) 9時～16時

役場では申告期間中、上記休日の申告を受け付けます。平日に申告できない人は、ぜひ来庁してください。

田川税務署
での受付期間 >>> 2月16日(木)～3月15日(水)

申告会場 たがわ情報センター(田川市) 9時～16時(土・日は除く)

■ 町県民税の申告をしなければならない人

- ▶ 平成29年1月1日現在、添田町に居住している人
- ▶ 平成28年中に営業、農業、不動産などの所得がある人
- ▶ 給与所得者でも日給などで働き、役場に事業主から給与支払報告書が提出されていない人

■ 申告に持ってくるもの

- ▶ 印鑑 ▶ 給与や年金などの源泉徴収票や収入のわかるもの ▶ 営業・農業所得等の収支明細書 ▶ 生命保険料・個人年金保険料・介護医療保険料・国民年金保険料・地震保険料(旧長期損害保険含む)などの支払証明書 ▶ 医療費控除のある人は医療費の領収書や保険金などで補てんされる金額の明細書 ▶ 障害者控除のある人は身体障害者手帳など ▶ マイナンバーカード、通知カードをお持ちの方はご持参ください

■ 公的年金受給者や国保加入者は特にご注意ください

▷ 所得税では通常、給与所得以外の所得が20万円以下の人や公的年金合計額が400万円以下で、それ以外の所得が20万円以下である場合は、確定申告をする必要がありませんが、町県民税では必ず申告が必要です。

▷ 国民健康保険に加入している世帯は、所得がない場合でも必ず申告しなければなりません。申告をしない場合は、所得証明書の交付や国民健康保険税の軽減措置が受けられませんので注意してください。

■ 申告は便利な e-Tax をご利用ください

e-Tax(国税電子申告・納税システム)は、自宅やオフィスなどからインターネットなどを利用して、申告や申請、届出などができる便利なシステムです。

● 添付書類の提出を省略

医療費の領収書や源泉徴収票などはその記載内容を入力して送信することで、提出や提示を省略することができます。(確定申告期限から5年間、書類の提出や提示を求められることがあります)

● 還付金がスピーディー

e-Tax で申告された還付申告は書面申告と比べて、早期に処理をしています。
※ e-Tax の利用は事前登録が必要です。詳しくは e-Tax のホームページ (<http://www.e-tax.nta.go.jp>) をご覧ください。



● 平成29年度からの町・県民税の主な改正

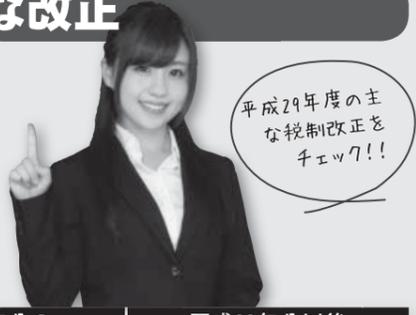
▶ 給与所得控除の見直し(上限額の引き下げ)

給与所得控除の見直しがされ、給与所得控除の上限が適用される給与収入1,500万円(控除額245万円)を「平成29年度分は1,200万円(控除額230万円)に、平成30年度分以後は1,000万円(控除額220万円)に引き下げる」こととされました。

【給与所得控除上限額の変更】

	現行(平成25年分～平成27年分の所得税)(注意1)	平成28年分の所得税(注意2)	平成29年分以後の所得税(注意3)
上限額が適用される給与収入	1,500万円	1,200万円	1,000万円
給与所得控除の上限額	245万円	230万円	220万円

(注意1)住民税は平成26年度～平成28年度に適用、(注意2)住民税は平成29年度に適用、(注意3)住民税は平成30年度以後に適用

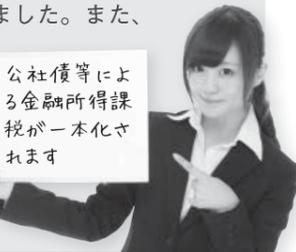


▶ 日本国外に居住する親族に係る扶養控除等の書類の添付等義務化

所得税の確定申告や個人住民税の申告等において、国外居住親族に係る扶養控除(16歳未満の扶養親族含む)・配偶者控除・配偶者特別控除・障害者控除の適用を受ける者は、「親族関係書類及び送金関係書類を添付又は、提示をしなければならない」とこととされました。ただし、年金の扶養親族の申告や給与の年末調整の際に「親族関係書類及び送金関係書類」を添付又は提示している場合は必要ありません。

▶ 金融所得課税の一体化について

これまで公社債等については、利子・譲渡・償還によって課税の仕組みが異なりましたが、税負担に左右されずに金融商品を選択できるよう、株式等の課税方式と同一化することとされました。また、特定公社債等の利子及び譲渡損益並びに上場株式等の金融商品間の損益通算範囲を拡大し、3年間の繰越控除ができることとされました。



ておだけ。簡単・確実に払い忘れることもありません。口座振替をご利用になると、納期限にゆとりができます。

■ 軽自動車税



125cc以下のバイクやトラクターなどを登録して、現在所有していない人は、ナンバープレートと印鑑を持って、3月31日(木)までに廃車の手続きをしてください。

■ 町税完納にご協力をお願いします

平成28年度の町県民税や固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税(7期)の納期限が終わりました。納め忘れの税がないか確認し、町税完納にご協力ください。納付書を紛失した場合や、税や申告で不明な点がある場合は、いつでも気軽に役場住民課税務・滞納対策係(☎82-1234)まで相談してください。

■ 各種税の申告と納付の期限を忘れずに

- ▶ 所得税・贈与税 = 3月15日(木)まで
- ▶ 個人事業者の消費税と地方消費税 = 3月31日(金)まで

■ 振替納税を利用している人の振替日

- ▶ 所得税 = 4月20日(火)
 - ▶ 個人事業者の消費税・地方消費税 = 4月25日(日)
- ※ 新たに振替納税を利用する場合は「預貯金口座振替依頼書」の提出が必要です。

■ 簡単便利な振替納税

確定申告後、納付書ももらっていたけど、うっかり払い忘れていた。銀行が遠くて行くのが大変。納付期限を過ぎてしまうと利子税(延滞金)が発生することもあります。口座振替にしておけば、引き落とし日の前に、お金を通帳に入れ



●第3回そえだご当地一品グランプリ

町の魅力発信 こんにやく料理

昨年の12月15日、オークホールで第3回そえだご当地一品グランプリが開催されました。自然豊かな添田町で採れる農産物といった食材の魅力を発信し、消費拡大をめざして開催され、今年で3回目。今回のテーマはこんにやくで11の個人・団体から33作品が出品されました。こんにやくを使った寿司やステーキ、サラダ、スイーツなどのテーブルに並んだ料理を寺西町長や料理人、フードコーディネーターなど11人が審査。その結果、最優秀賞には添田町食生活改善推進委員会の赤野妙子さん(添田中)が考案した「きなこかけコンニャク」が選ばれました。町では今後、出品されたメニューの中から改善を加え、商品化に向けた開発を進めます。

最優秀賞「きなこかけコンニャク」
赤野妙子さん



こんにやくを湯通しして、フライパンで煎った上で、砂糖を加えて煮た後、きなこをまぶします。こんにやくの水分をとばし、食感を変えることがコツ。こんにやくもきなこもヘルシー食材で、子どもから高齢者までおいしく食べられるおやつです。10分ほどで出来あがる簡単な料理なので、受賞にはびっくりです。



ズラリと並んだこんにやく料理



優秀賞のこんにやくのぬか炊き



こんにやくのお寿司も登場



←1月4日の着任式で寺西町長と握手を交わす佐々木さん

輝くあの人に注目!! Focus on Shin Sasaki 農産物や加工品など添田町の魅力をPR

「商品流通推進員」として、イベントやインターネットでの魅力発信や都市圏での移動販売、飲遊舎ひこさんの活性化などを担う佐々木さん。ジビエ推進員の神吉能宜さんと「添田町地域おこし協力隊フェイスブックページ」を開設し、普段の活動や添田町の魅力をインターネットで発信しています。2人の活躍にますます期待です。

佐々木 晋さん (添田町地域おこし協力隊)

添田町の自然やその営み、豊かな農産物などにひかれて応募した佐々木さんは「まずは、地域に溶け込み、安心して体に良いもの、新鮮な農産物などをアピールしたい」と語っていました。

添田町地域おこし協力隊
フェイスブックページ
<https://www.facebook.com/soedamatitikiokosi/>
添田町地域おこし協力隊 検索



想像以上の雪と寒さに驚いた冬的美深町。雪国での体験は、一生忘れられない宝物となりました

HOKKAIDO BIFUKATOWN
北海道 美深町

人口約4,500人。面積は約672.09km²。赤字路線日本一という共通課題を抱えていたことがきっかけとなり、昭和56年に姉妹町の提携。ジャガイモやカボチャ、畜産など北海道ならではの特産物は、全国でも高い評価を受けています。

【美深町】
●旭川市

●札幌

冬的美深町で体験した一生の思い出

●北海道美深町ホームステイレポート

“真冬的美深町で体験。大切な友だちとの一生の思い出”

12月24日の早朝、添田町を出発し、美深町へ向かいました。しかし、大雪の影響で交通機関に遅れが生じ、美深町に到着したのは出発から14時間後。到着した美深町は、一面銀世界で想像以上の雪と肌に突き刺さるような寒さを実感しました。

2日目、受け入れ家庭の友だちと一緒に旭山動物園に出掛けました。この日の気温はなんと、氷点下10℃。雪が降る中、名物のペンギンの散歩を見学しました。また、シロクマやアザラシなど北の大地にピッタリの動物たちに、みんなで歓声を上げて大喜びしました。

3日目はスキー体験教室。スキー初挑戦でしたが、美深町の小学生やインストラクターの先生から教えてもらうと、すぐに上達。スキー以外にも、そりやタイヤチューブで滑るなど、雪国ならではの遊びを思いっきり楽しみました。その夜は、ホストファミリーや美深町職員の皆さんが集まってお別れ夕食会を開いてくれました。美深町での思い出を發表したり、家族と写真を撮ったり、ゲームをしたり、とても名残惜しかった。

最終日には再会を誓い合い、最後のお別れをして添田町に帰りました。受け入れ先の家族や友だちとの出会い、気候の違いや初めて見る雪景色、北国だからこそできた体験など多くのことを学んだ今回のホームステイ。その思い出が心に刻まれ、一生忘れられない大切な宝物となりました。ありがとうございました。夏に添田町でまた、会いましょう。

光井美登利団長(落合小学校校長)と町内小学生4人、引率者が昨年12月24日から3泊4日の日程で姉妹町・北海道美深町でホームステイを行いました。想像以上の雪が積もった真冬の北海道。添田町とまったく違う気候の中で一生の思い出と大切な友だちができました。



北海道での雪遊びは最高でした!!



クリスマスツリーの前で記念撮影



温かく迎えてくれた美深町に感謝です



身近なまちの話題について情報をお寄せください。
広報紙に掲載された写真は差し上げますので、お気軽にお問い合わせください。



住民を第一に考えた連携事業を推進 田川広域定住自立圏形成協定締結式

1月11日、田川市で8市町村による田川広域定住自立圏形成協定締結式が行われました。定住自立圏とは、8市町村が様々な分野で連携して活性化を図ることで人口流出を防ぐのが目的で、連携事業には国からの財政支援があります。締結式で寺西町長は「町民を第一に考えた連携を進める必要がある」と語っていました。



↑田川市郡の8市町村長が参加して行われた締結式

チーム一丸となり、九州大会準優勝 田川ホークス準優勝

田川市民球場などで昨年11月6日から行われたポニーリーグ九州連盟杯争奪トーナメント大会で、田川ホークスが見事、準優勝しました。この大会は全日本中学野球選抜大会の予選も兼ねており、全国大会出場権も獲得した田川ホークス。添田中学校2年生の永井雅斗さんは「全国大会も勝利する」と力強く語っていました。



↑チームワークを発揮し、全員で勝利を目指します

健康や豊作を願う新年恒例の風物詩 野田地区で鬼火焚き

野田地区で1月8日、1年間の無病息災や五穀豊穡を祈願する鬼火焚きが行われました。彦山川沿いに作られた約10メートルの竹のやぐらの中に、地区の皆さんが持ち寄ったしめ縄飾りや門松などを入れ、寺西町長と子どもたちが点火。訪れた皆さんは、今年の健康や豊作を願いながら、燃え上がる炎を見守っていました。



↑竹のやぐらに火をつける寺西町長と子どもたち

希望進路合格へ愛情のこもった激励 添田中学校おやじ会

添田中学校で1月7日、3年生の希望進路合格を願って、添田中学校おやじ会（金子秀幸会長）から受験生に手作りの豚汁が振る舞われました。愛情のこもった温かい豚汁を味わった内村咲喜さんは「温かい激励に感謝します。全員希望進路合格を目指して、頑張りたい」と試験に向けて、気を引き締め直していました。



↑温かい豚汁を食べて目指すは希望進路合格です

寒さに負けない気合の突きと掛け声 田川修武会が寒稽古

空手道場・田川修武会が1月8日、歓遊舎ひこさん前の彦山川で、寒稽古を行い、新年恒例の行事に子どもから大人まで約40人が参加しました。男子は上半身裸、女子はTシャツ姿で、冷たい水の流れる川に入ると、号令にあわせた気合の突きと「おす」の掛け声を繰り返す、厳しい寒さの中で心と身体を鍛えていました。



↑「おす」気合の突きと声で寒さを吹き飛ばしました

募金から福祉巡回車両1台が贈呈 添田町社会福祉協議会

（一社）生命保険協会北九州協会から、添田町社会福祉協議会（宇都宮多美子会長）に福祉巡回車両1台が贈られました。昨年12月7日にそえだジョイで行われた贈呈式で、北九州協会の藤森敬裕副会長からゴールドキーが手渡された宇都宮会長は「生命保険協会の厚意に感謝し、有意義に活用したい」とお礼を述べていました。



↑協会加盟会社従業員の募金から贈呈されました

↓落合小で2分の1成人式を迎えた児童は7人。校長先生から証書を受け取りました



10年で、こんなに成長できました 2分の1成人式

町内の各小学校で、10歳の節目を迎えた小学校4年生が、10年間の感謝や将来の夢を考え決意する、2分の1成人式を行いました。1月20日に落合小学校で行われた式では、10年間の写真のスライドショーのあと、児童から保護者へ「料理や洗濯、送り迎えをしてくれてありがとう、けがの手当てをしてくれてありがとう」などと感謝の手紙が読まれました。保護者から児童への手紙では、生まれた日のことやどんな思いで子育てをしてきたかなどが話されると、会場は感動に包まれていました。



↑愛情詰まった手紙を読む保護者たち

機敏な動作で防災への意気込み誓う 添田町消防団出初式

防災への決意を誓う添田町消防団（田中久美男団長）による出初式が1月8日、そえだドームで行われました。式では、消防団員たちが号令に合わせた機敏な動作で服装点検を行ったり、少年防火クラブや婦人防火クラブの皆さんも参加して息の合った分列行進を披露したりしました。また、長年消防活動に奉仕した団員・家族への表彰や退団・入団などの辞令交付が行われました。消防団員らは、新たな気持ちで、地域の要となるよう総合防災力を高め、災害防止に努める決意を示していました。



↑少年防火クラブも分列行進をしました

↓消防団員らが号令に合わせ、機敏な動作で服装点検や分列行進を披露した出初式



↓「ムエタイ世界王者になりたい」と話した松井運汰さん。寺西町長に作文を託しました



20歳の自分を思い描いて送る言葉 添田中学校立志式

義務教育9年間を通して夢や希望を持つ子どもを育てることを目的とした「そえだドリームプロジェクト」の一環として1月17日、添田中学校2年生が将来の夢や目標を発表し、将来を見つめ直す「立志式」がオークホールで行われました。「二十歳のキミへ」をテーマに、6年後の自分あてに書いたメッセージを、代表して6人の生徒が読み上げました。また、幼児教育専門家の熊丸みつ子先生が講演会を行い「自分を大事にできる人は、周りの人を大事にできる人です」と語りかけました。



↑思春期の生徒の心に響く講演会でした

彦山山伏を統括した指導者 「おんな座主 昌千代」

戦国時代の彦山では、ひとりの女性指導者が、山伏たちを統率していました。今回の歴まちコラムでは、女性として、彦山の座主について昌千代を紹介します。



※「ひこさん」は、享保14年(1729)に靈元法皇の院宣により「英」を付けた「英彦山」表記されるようになりました。本コラムでは享保14年以前と以後で使い分けています。

彦 山の座主は山内で組織化されていった山伏集団を総括する指導者で、山伏の中から選ばれていました。元弘3年(1333)に京都から助有法親王を迎え、これ以降は世襲制となりました。歴代座主は黒川院(現・朝倉市黒川)に居住していましたが、戦国時代の天正9年(1581)に座主の舜有は、彦山南谷の華藏院(現・英彦山公民館の東側周辺)へ移って来ました。

た。舜有は秀吉に会い、土地を返してもらおうように願い出ましたが認められず、天正15年(1587)に没しました。

正式な座主と位置付けるか、あくまでも一時的な代理と見なすかは見解が分かれるところですが、この時期に彦山へ送られた書状を確認すると、宛名に「彦山座主御坊昌千代殿」「彦山座主昌千代殿」とあり、対外的には座主として認識されていたことが分かります。

戦 国時代の彦山は、大友宗麟によって、上宮や行者堂(現・産霊神社)が焼き打ちされたり、豊臣秀吉によって土地が没収されたりして、経済的に苦しい状況に置かれていました。

高 野山や出羽三山など、多くの霊山で女性の立ち入りが禁止されていたなかで、彦山は女性が座主に就きました。東海地方で女性の城主と言われる「井伊直虎」が活躍していた頃に、九州地方では女性の座主が誕生していたのです。

明 治時代に歴代座主の経歴をまとめた「高千穂家歴世系図」には、天正15年から慶長5年(1600)までの約13年間は「座主職断絶」で、昌千代が「代職」したことが記されています。昌千代の「代職」を

治時代に歴代座主の経歴をまとめた「高千穂家歴世系図」には、天正15年から慶長5年(1600)までの約13年間は「座主職断絶」で、昌千代が「代職」したことが記されています。昌千代の「代職」を

野山や出羽三山など、多くの霊山で女性の立ち入りが禁止されていたなかで、彦山は女性が座主に就きました。東海地方で女性の城主と言われる「井伊直虎」が活躍していた頃に、九州地方では女性の座主が誕生していたのです。

まちのホットNews

復興を願い、心をひとつに合唱

上落合長生会

1月17日、しゃくなげ荘で行われた上落合長生会(野北泰司会長)の新年会で会員の男女13人がコーラスを披露しました。この日のために練習を重ねてきた皆さんは、東日本大震災の復興支援ソング「花は咲く」を東日本や熊本といった被災地の復興を願い合唱し、胸を打つ美しいハーモニーを奏でました。



↑復興を願い、みんなで心をひとつに「花は咲く」を合唱しました

貴重な文化財産や資料を町へ寄贈

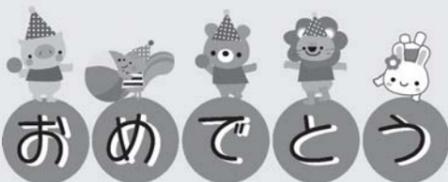
釜木繁典さんに感謝状

釜木繁典さん(北九州市)が、町内にあった家屋を取り壊した際に、残っていた貴重な文化財産約20件を町に寄贈しました。



1月10日に藤田教育長から感謝状が送られ、釜木さんは「町が進める歴史と文化の町づくりに役立ててもらえればありがたいです」と語っていました。

2月生まれ HAPPY BIRTHDAY



木村 空雅ちゃん 2月12日生 豊川

1歳のお誕生日おめでとう♡甘えん坊な空雅が可愛くてたまりません♡これからも元気に大きくなってね!!パパ・ママより



松嶋 柊月ちゃん 2月3日生 真木

お兄ちゃんとお姉ちゃんがすごく大好きなひいちゃんです♡ HAPPY BIRTHDAY♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡



佐藤 陽莉ちゃん 2月11日生 英彦山

大好きな陽莉ちゃん♡3歳のお誕生日おめでとう!これからも陽莉のキラキラ笑顔が沢山あふれますように☆



加来 一満ちゃん 2月17日生 庄中

とってもかわいいママの天使♡4人兄弟みんな仲良し♡プープー大好きかずま。将来はカーレーサーかな(笑)

◎3歳までのお子さん募集中

Eメールは①お子さんの写真 ②お子さんの氏名 ③名前の読み方 ④誕生日 ⑤年齢 ⑥行政区 ⑦メッセージ(50文字以内) ⑧保護者の連絡先を(koudojyouhou@town.soeda.fukuoka.jp)まで送信してください。

3月生まれは2月15日☎までに送信または持参ください。 役場まちづくり課広報係 ☎ 82-5964

文芸歳時記

【俳句 添田福寿句会】

苦楽越え近づく卒寿去年今年
耐へ抜きてこそその艶増す寒椿
うち揃い子等とながむる聖樹の灯
年始め曾孫よろこぶお年玉

【俳句 天籟通信添田句会 大池青湖選】

炬燵にも指定席ある暮しむき
輪廻転生石の翳抱く石路の花
年老いて人恋しさに冬の月
贅沢は言わぬ昭和や煮大豆
カレンダー一枚ほどの寒さかな
落葉踏む休み休みの石の段
羅漢さん泣いて笑って師走来る
天に地に音奔らせて十二月

【短歌 春扇短歌会 筑紫支社】

玄関の手摺は亡夫にと備へしを
今年亦柚子の香りの冬至湯に
独り安らぐありがたきかな
百歳の吾を助けぬつ
大塚 成子
五十嵐田鶴

孫達の友もまじへて二斗の餅

ひと白めにはお鏡とする 平井 朝子
裏山にチツチと騒ぐ小鳥たち 木村 寛子
雪舟の立ち寄りしとふ名家跡に 福富 廣枝
ゆっくりと作りし甘酒上出来に 荒巻ミサ子
届ける友も吾も一人居

【短歌 投稿】

英彦山は除夜の鐘をば杵で撞く
その経緯を誰か教えて 濱田イサオ
あ、でないこうでもないのご時勢は

【俳句 投稿】

初冠雪勇姿厳か英彦連峰 村岡 清香
小さき星一つまたたく冬銀河 天野ユキ海
弁慶の引きずる鐘や鷓鴣る 斎藤智寿子
近江路の船板塀や寒の鯉 柴田 一世
霜晴れや一本径は古墳まで 島津余史衣
恒例の紅白を見ず除夜の鐘 立花 克明

◎3月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します
2月15日☎までに役場まちづくり課に連絡してください。
※投稿は1人一句まで。
役場まちづくり課広報係 ☎ 82-5964



教育のひろば

添田中学校における体罰等の事案について

新聞等に報じられましたように、昨年末、添田中学校において、当町任用講師による生徒指導上での体罰がありました。添田町や添田中学校の信頼を大きく低下させたことを深くお詫び申し上げます。

このような体罰は、教育委員会としてもあってはならないことだと認識しています。本来、生徒指導とは、生徒と教師との信頼関係を築いた中で、生徒の許されない行為に対しては、毅然とした態度で指導していくことにあります。その指導に暴力行為等の体罰を用いることは、厳に慎まなくてはなりません。このことを、教師の共通認識として持つために、学校内で体罰防止の研修も行っているところですが、活かされていなかったことは、誠に残念であります。

今後、中学校として、このことを深く反省し、生徒・保護者との信頼関係の回復に努め、二度と体罰を起こさないための研修を行うなど、生徒指導における体制の確立を行って参ります。

教育委員会としても、全学校に対して、改めて体罰等を起こさないための指導・助言を行なっていきます。

また、生徒の許されない行為については、引き続き、教師全員が毅然とした態度で指導を行うことに変わりはなく、教育委員会としても支援してまいります。

保護者や地域の皆様におかれましては、添田中学校の生徒たちがより良い方向に育つために今後ともご支援をお願い致します。

改めて、町民の皆様にご多大なるご心配とご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

改めて、町民の皆様にご多大なるご心配とご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

問 教育委員会学校教育課 (☎82-5963)

第23回 添田町長杯囲碁大会



- とき 2月5日(日) 12時対局開始 (受付11時～11時30分)
- ところ そえだジョイ
- 対象 町内在住または在勤者/年齢制限なし
- 申し込み・問い合わせ
金森幸雄さん(町三)/☎82-1933
宮田昭秋さん(町一)/☎82-1472
伊藤公輔さん(町四)/☎82-0879

▼対象者 田川郡・京都郡・築上郡在住の20歳までの子ども
のいる家庭
※予約者を優先しますので、事前に連絡してください。
問 子ども支援オフィス(行橋オフィス)
(☎0930-26-7710)

▼対象者 田川郡・京都郡・築上郡在住の20歳までの子ども
のいる家庭
※予約者を優先しますので、事前に連絡してください。
問 子ども支援オフィス(行橋オフィス)
(☎0930-26-7710)

▼期間 2月1日(日)～14日(火) / 予約枠が埋まり次第締め切り
▼予約時間 飯塚法律相談センター/月曜～金曜、13時～16時 (☎0948-28-7555) / 田川弁護士センター/月曜～土曜、13時～16時 (☎42-2330) / 直方弁護士センター/月曜～水曜・金曜、13時～16時 (☎0949-25-0636)

▼女性のための無料相談会
▼とき 2月25日(日) 10時～15時
▼ところ 立岩公民館(飯塚市)
▼内容 離婚、DV、多重債務、遺産相続、人権問題など

▼定員 20組(事前予約者優先)
▼予約時間 平日10時～16時
問 筑豊京築総合相談センター (☎44-2530)

▼「解雇・雇止め」集中相談会
▼とき 2月22日(日)・23日(月) 9時～20時
▼ところ 福岡県筑豊労働者支援事務所(飯塚市)
▼対象者 労働者または事業主
▼相談方法 面談または電話
※予約不要、相談無料。秘密は厳守されます。一人で悩まず相談してください
問 福岡県筑豊労働者支援事務所 (☎0948-22-1149)



▼無料調停相談会
家庭内の事や民事の紛争解決手段のひとつに調停制度があります。この利用についての無料相談会を行います。
▼とき 2月12日(日)
▼受付時間 9時～15時
▼ところ 香春町民センター(香春町)
問 田川調停協会 (☎42-0163)

試験

自衛官採用試験・説明会

- 【採用説明会】
- ▼とき 2月12日(日) ①10時～②13時
- ▼ところ 自衛隊飯塚地域事務所(飯塚市)
- ▼説明内容 自衛隊の概要と自衛官候補生の説明、質疑応答
- 【試験】
- ▼とき 3月5日(日)
- ▼種目 自衛官候補生(男子)
- ▼受験資格 平成29年4月1日時点の年齢が、18歳以上27歳未満の人
- ▼受付期間 2月12日(日)～2月28日(火)
- 問 自衛隊福岡地方協力本部飯塚地域事務所 (☎0948-22-4847)

高齢者

▼タクシー利用助成券
有効期限は3月31日まで
今年度から75歳以上の人を対象に開始したタクシー利用助成券の有効期限は平成29年3月31日までです。平成29年4月1日以降は利用できませんので注意してください。

▼後期高齢者の健康診査は毎年受けましょう
後期高齢者医療制度の被保険者を対象に、生活習慣病の予防および早期発見・早期治療を目的に、健康診査を実施しています。受診期限は、平成29年3月末です。まだ受診していない人は、実施医療機関などで早めに予約の上、受診してください。



相談

福岡県子ども支援オフィス 無料巡回相談会

すべての子どもが夢と希望を持ち成長していける社会の実現のために、親と子どもの両方の幸せを考えて、相談支援を行っています。子育てや家族の悩みを気軽に相談してください。
▼とき 3月6日(日) 10時30分～13時
▼ところ 添田町役場1階第3会議室

忘れず申請をお願いします

4月から小学生のお子さんは「ひとり親家庭等医療証」の手続きを

4月から小学校に入学する、ひとり親家庭等医療制度に該当するお子さんは、現在お使いの子ども医療証からの、切り替えの手続きが必要となります。



【必要な手続き】

対象となる小学校新1年生(生活保護世帯を除く)に認定申請書を送付しますので、下記のとおり申請してください。申請受け付け後、3月末に医療証を送付しますので、忘れずに手続きを行ってください。

- 受付期限 3月3日(金)
- 受付場所 役場保健福祉環境課子育て・障がい者・福祉係 (②番窓口)
- 必要なもの 印鑑、お子さんの保険証、申請書
- 問 役場保健福祉環境課 子育て・障がい者・福祉係 (☎82-1232)



添田町のこと、もっと知ってみませんか

添田町歴史テキスト 「知ってる? 添田町の歴史」販売中

町の歴史・文化・伝承などを記載した歴史テキストの一般販売を開始しました。このテキストは、町内小学生向けに作成しましたが、平易な文章とイラストや写真の多さが好評で、購入希望の声を多くいただきました。



- 販売期間 2月1日(日)～在庫終了まで 平日8時30分～17時15分
- 販売場所 役場2階まちづくり課文化財係窓口
- 販売価格 千円/1冊
- サイズ A4判・オールカラー・84ページ
- 問 役場まちづくり課文化財係 (☎82-5964)

イベント

布の絵本作講座
つくってあそぼう布絵本

「あいっえお、かきくけこ」のひらがなで家族みんなが楽しめる布絵本を作ります。
●講座名 つくってあそぼう布絵本「あいっえお」
●とき 2月14日(火)、22日(日)、3月7日(火) 10時～12時(全3回)
●ところ 町立図書館
●講師 添田町虹の会会員
●材料費 千800円
●持参物 裁縫道具、筆記用具
●定員 10人/先着順・要申込み
●町立図書館(☎82-4800)



英彦山俳句大会作品募集中

第二回「山ほととぎす」杉田久女英彦山俳句大会の作品を募集します。
【作品投句要項】
●投句方法 投稿用紙や原稿用紙に必要事項を記入し、郵送してください。様式はインターネットで「添田町観光ナビ」からダウンロードできます

農地の貸し借りを推進
利用権設定について

町では、意欲ある担い手を育成し、農業生産の合理化・効率化などで生産コストの低減を図るため、農業経営基盤強化促進事業で農地の貸し借りを推進しています。
▼出し手のメリット
▼貸した農地は期限が来れば、離作料を支払うことなく必ず返ってきます
▼受け手のメリット
▼経営規模の拡大が図れます
▼貸借期間中は安心して耕作できます。また、再設定で継続して借りられます
●受付期間 2月1日(火)～28日(火)
●役場地域産業推進課 農業振興係(☎82-1237)



献血にご協力ください

●とき 3月8日(火)10時～12時30分、13時30分～16時

大池青湖(☎82-0890)
添田町活性化推進協議会(☎080-1875-3111)

※投稿先など、詳しくは投稿用紙をご覧ください。

出店者大募集
遠賀川フェスティバル

筑豊地域を元気にしたい！筑豊を盛り上げたい！をテーマ行われる「遠賀川フェス」。このイベントの飲食ブースへの出店者を募集します。
●とき 4月1日(土)・2日(日)
●ところ 石炭記念公園
●対象者 田川市郡に実店舗のある事業者
※事業概要や出店申込書などは、市役所3階たがわ魅力向上課や(一社)田川広域観光協会などで配布します。
●申込期間 2月1日(火)～15日(日)
●(一社)田川広域観光協会(☎45-0700)

高濃度PCB(ポリ塩化ビフェニル)使用機器の処分期限

8月1日から高濃度PCBを使用した機器を、原則下記期間までに、中間貯蔵・環境安全事業株式会社へ処分委託することが義務付けられました。また、法改正に伴い、届出内容の変更、追加が行われています。
●対象者 体重50キログラム以上の人、男性17～69歳、女性18歳～69歳
●65歳以上の人は、60～65歳に献血経験がある人に限ります。
●役場保健福祉環境課健康対策係(☎88-8111)



「みんなの学校」上映会

全ての子どもにも居場所がある学校づくりを目指し、児童と教職員、地域の人が協力し合う取り組みのドキュメンタリー映画を上映します。
●参加費 無料

お知らせ

添田町就学援助費交付制度
町立の小・中学校に在籍する児童・生徒で、経済的な理由で給食費の支払いや学校用品などの購入が困難な生活状況にある世帯に対して、認定要件に該当する場合、費用の一部を援助します。
●処分期限
●大型変圧器・コンデンサーなど平成30年3月31日
●安定器、汚染物など平成33年3月31日
所有する機器にPCBが含まれていることがわかった場合は、速やかに、県保健福祉環境事務所に連絡してください。
●嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所(☎0948-21-4813)

アクリル絵具
イラスト体験講座

添田町出身で画家、イラストレーターのインカワチヒロさんのイラスト展を図書館で秋に行い、イラスト体験コーナーが好評でした。そこで今回はインカワさんを講師に、アクリル絵具を使ったイラスト体験企画を実施します。インカワさんが使っている絵具と用紙を実際に使ってイラスト体験してみませんか。
●とき 2月25日(土) 10時～12時
●ところ 町立図書館グループ室
●定員 小学校3年生以上12人
●参加費 無料/要申込み
●町立図書館(☎82-4800)

お知らせ

●処分期限
●大型変圧器・コンデンサーなど平成30年3月31日
●安定器、汚染物など平成33年3月31日
所有する機器にPCBが含まれていることがわかった場合は、速やかに、県保健福祉環境事務所に連絡してください。
●嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所(☎0948-21-4813)

「みんなの学校」上映会

全ての子どもにも居場所がある学校づくりを目指し、児童と教職員、地域の人が協力し合う取り組みのドキュメンタリー映画を上映します。
●参加費 無料

「みんなの学校」上映会

全ての子どもにも居場所がある学校づくりを目指し、児童と教職員、地域の人が協力し合う取り組みのドキュメンタリー映画を上映します。
●参加費 無料

「みんなの学校」上映会

全ての子どもにも居場所がある学校づくりを目指し、児童と教職員、地域の人が協力し合う取り組みのドキュメンタリー映画を上映します。
●参加費 無料

「みんなの学校」上映会

全ての子どもにも居場所がある学校づくりを目指し、児童と教職員、地域の人が協力し合う取り組みのドキュメンタリー映画を上映します。
●参加費 無料

人の動き

12月末日現在()は前月比

●人口	10,374人(-27人)	●出生	2人
●男性	4,893人(-10人)	●死亡	23人
●女性	5,481人(-17人)	●転入	19人
●世帯数	4,814世帯(-8世帯)	●転出	25人

相談

- 心配ごと相談(そえだジョイ/10時～15時) 2月7日(火)、21日(火)
- 補聴器相談(役場ロビー) 2月8日(火)(13時～)、2月10日(木)(15時～)
- 無料法律相談会(福岡法務局田川支局/13時～16時) 2月14日(火)
※利用条件あり。詳しくは問い合わせください。
●法テラス福岡(☎050-3383-5502)
- こころの健康相談(田川保健福祉事務所/予約制) 2月14日(火)(10時～)、23日(日)(14時～)
●田川保健福祉事務所健康増進課(☎42-9307)
- 女性の健康相談・不妊相談(福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所/要予約) 2月1日(火)、3月1日(火)(13時30分～16時30分)
●福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所健康増進課健康増進係(☎0948-29-0277)

事件事故発生状況

12月の事件発生状況 ()内は昨年同月比		
種類	発生件数	今年の累計
自動車盗	0(±0)	0(±0)
性犯罪	0(±0)	0(-2)
車上ねらい	0(+0)	1(-2)
空き巣・忍び込みなど	0(±0)	8(±0)
12月の事故発生状況 ()内は昨年同月比		
種類	発生件数	今年の累計
事故発生(物件+人身)	12(-3)	166(-12)
死亡者	0(±0)	0(±0)
負傷者	8(+1)	66(+22)

町民バドミントン大会

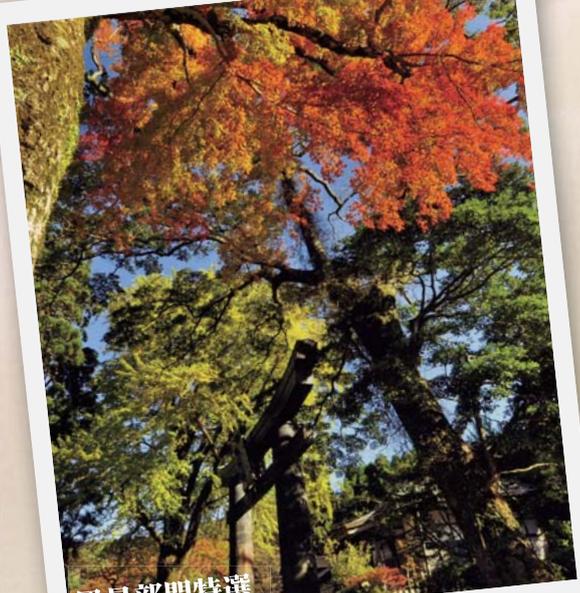
- とき 3月12日(日) 9時(受付8時45分～)
- ところ 町体育館/参加無料(上級者・中級者・初級者別)
- 参加資格 町内在住・在職者や町内体育施設で活動をしている人
- 申込期限 3月6日(日)
- 教育委員会社会教育課 生涯教育係(☎82-2559)



先月号の裏表紙の一部に誤りがありましたので、おわびして訂正します
【誤】念頭のあいさつ 【正】年頭のあいさつ



◇発行/添田町 ◇編集/まちづくり課
〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 2151 番地
☎0947-82-1231 FAX0947-82-2869
ホームページ http://www.town.soeda.fukuoka.jp



風景部門特選

ふりそそぐイチョウ (撮影地・英彦山)
志岐俊広さん (下関市)



イベント部門特選

怖くないよ (撮影地・野田)
遠藤晴世さん (北九州市)

21TH SOEDA TOWN PHOTO CONTEST PRIZE WORKS

第21回 添田町フォトコンテスト

美しい自然、歴史あふれるまち
「添田」魅力発見

入賞作品決定

町内の自然やイベントをテーマにした添田町フォトコンテストの審査が行われました。応募作品197点の中から、風景部門で特選1点・秀作4点・入選4点、イベント部門で特選1点・秀作5点・入選11点、またスマホ部門で秀作1点の入賞作品が決定しましたので、ご紹介します。

◎風景部門

【秀作／4点】▶實藤清實(田川市) ▶井上修(北九州市)
▶入江弘子(宮若市) ▶黒水律子(北九州市) 【入選／4点】▶白石淳二(田川市) ▶熊崎芳彦(広島市) ▶三浦誠(北九州市) ▶千田一弘(添田町)

◎イベント部門

【秀作／5点】▶池上ちよの(遠賀郡) ▶上原重春(糸田町) ▶佐藤恒光(下関市) ▶高瀬重信(大野城市) ▶二田水敦志(糸田町) 【入選／7点】▶葉石美和子(北九州市) ▶坂江則之(田川市) ▶石村國男(宗像市) ▶黒木丸生(下関市) ▶田邊須美子(北九州市) ▶独活山強実(添田町) ▶近藤博美(北九州市) ▶芝田邦子(北九州市) ▶木下武(川崎町) ▶松尾厚志(北九州市) ▶迎一恵(北九州市)

◎スマホ部門【入選／1点】▶西丸正美(香春町) / 順不同・敬称略

※入賞作品は、英彦山スロープカー花駅内のオープンギャラリーで展示しています。町ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

問 役場まちづくり課観光係 (☎ 82-1236)

広報そえだ
町長室

早いものでもう2月です。地方創生もその成果を期待する向きも多いかと思えます。添田町は人口1万人の維持を目標に掲げ、施策を展開していますが、人口減少自体は今後も当分変わらないと考えます。▼これは、ごく単純な事実として、出生率が今から突然急に跳ね上がることは、現実的には考えられないし、また、かりに突然そうなったとしても、高齢化の中で死亡数の増加は、今後当面続くことが予想され、人口減少という現象は変えようがないのが実態です。▼しかし、添田町が消滅してしまっは、歴史と文化を連続と引き継いできたご先祖様にも申し訳ないし、消滅の過程で住んでいる我々の生活で行政サービスが提供されなくなることは避けなければならぬと思っています。▼添田町のここ5年(平成24～28年)の年間の人口増減の推移を見ると左の表のとおりになっています。

▼社会的要因の転入数は、4年ぶりの300人を超え、社会要因による減少数は過去5年間で最少のマイナス20人となっています。この事を見て、人口減少が止まったとは決して思いませんが、今ある施策を進めていくことの可能性を裏付けるものであると思っています。▼しかし、出生率は徐々に回復し、最終的には人口が、フラットになる「人口置換基準」(正しくなった人の数だけ、生まれる人がいる)にまで回復することを目指さなければならぬと思っています。繰り返しますが、定住人口1万人は確保したいと思っています。▼人々が、ゆとりを持って生活を送れる添田町。楽しく暮らしていける添田町を創る。その結果、出生率の改善が表れてくるのではないかと思っています。今年もひと月を過ぎ、行政における新年度に向け一考しているところです。

(表) ここ5年間における添田町人口増減の推移 (人)

	自然要因			社会要因		
	出生	死亡	増減	転入	転出	増減
平成24年	58	187	△129	338	373	△35
平成25年	57	186	△129	260	340	△80
平成26年	58	190	△132	263	335	△72
平成27年	67	184	△117	263	317	△54
平成28年	50	195	△124	315	335	△20